

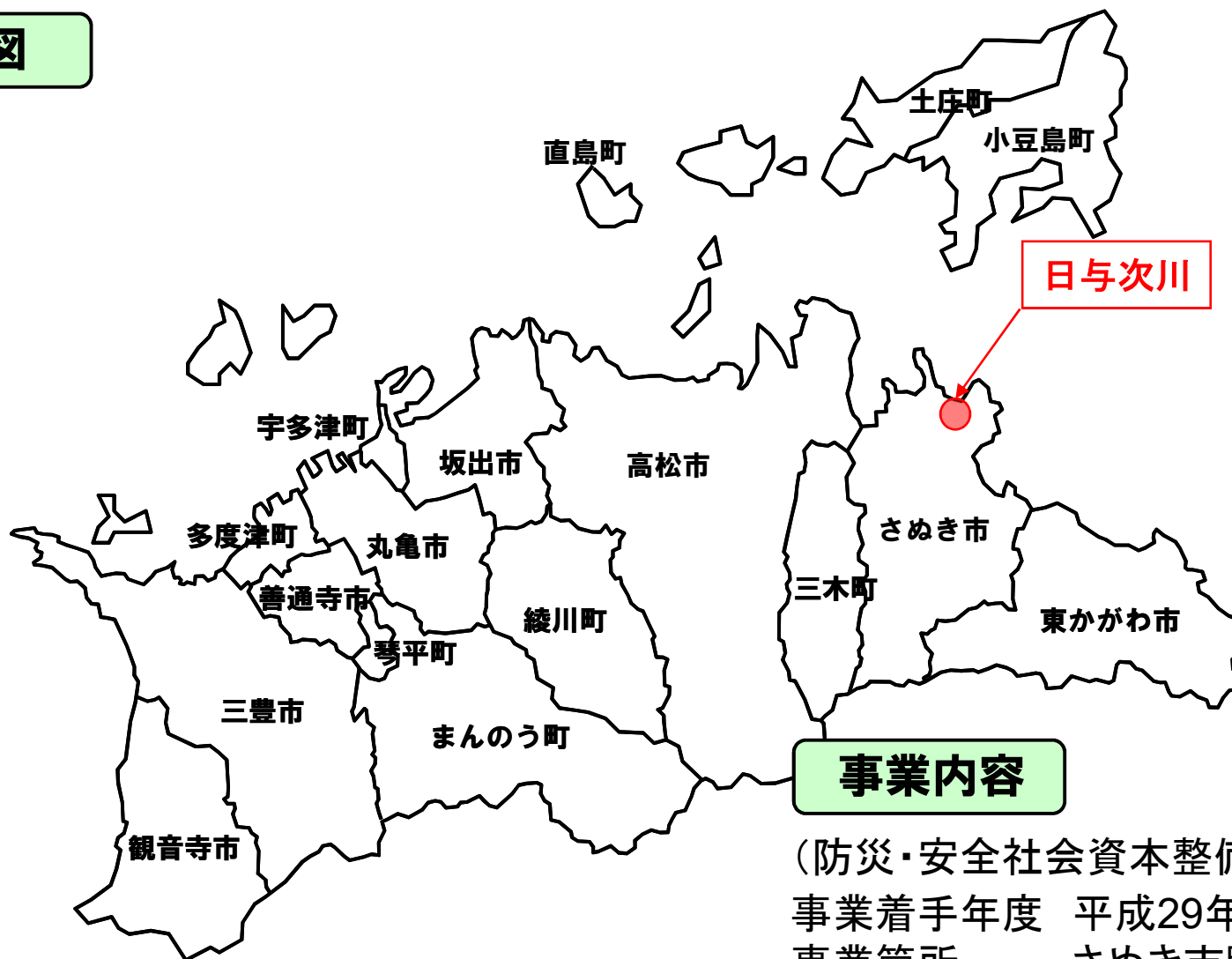
新規事業採択時評価対象事業

日与次川 事業間連携砂防等事業

香川県 河川砂防課

◇ 1 事業の概要

位置図



事業内容

(防災・安全社会資本整備交付金)
事業着手年度 平成29年度
事業箇所 さぬき市鴨庄
事業費 320百万円
実施内容 砂防堰堤1基、
溪流保全工23m¹

◇ 1 事業の概要

流域の概要



◇ 1 事業の概要

保全対象

事業の主な保全対象

- ・人家 15戸
- ・県道大串志度線 255m
- ・市道 181m



◇ 1 事業の概要

日与次川 通常砂防事業 計画図

計画平面図



渓流保全工 L=23 m

砂防堰堤 1基

堰堤一般図

堰堤長 L=87m

堰堤高
L=14.5m

前庭工

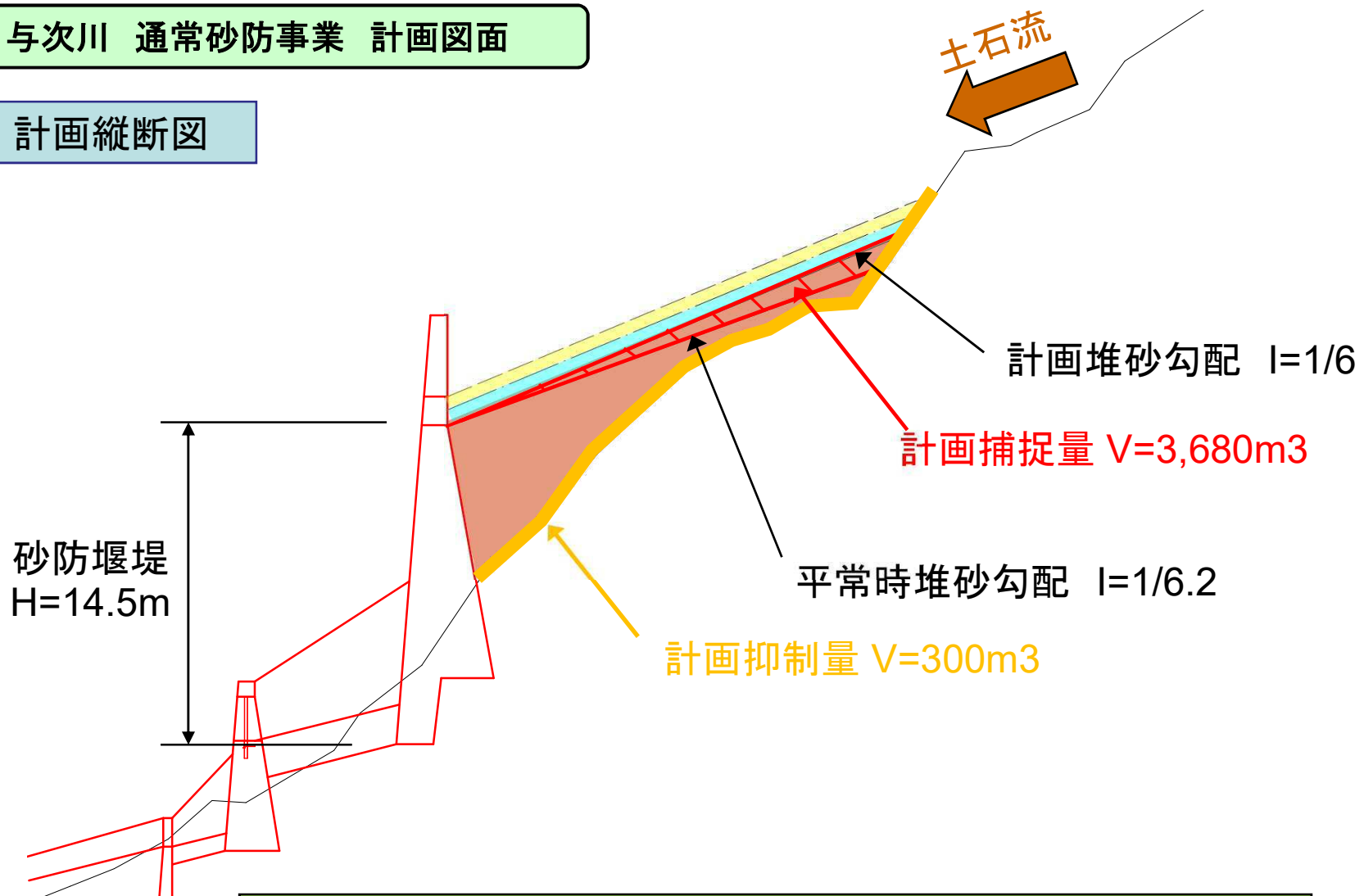
(堰堤正面図)

(堰堤平面図)

◇ 1 事業の概要

日与次川 通常砂防事業 計画図面

計画縦断面図



堰堤地点での計画流出土砂量 $3,980\text{m}^3$ を
砂防堰堤の計画捕捉量(赤線で囲まれた部分) $3,680\text{m}^3$ と
計画抑制量(オレンジ着色部分) 300m^3 で止める。

◇2 費用対効果分析

費用便益比(B/C)などの算定

費用便益比 (B / C) の算定結果

・ **総便益 B = 1,104 (百万円)**

〔 便益 = 1,086.8 (百万円)
残存価値 = 16.8 (百万円) 〕

・ **総費用 C = 302 (百万円)**

〔 建設費 = 299.4 (百万円)
維持管理費 = 2.8 (百万円) 〕

費用便益比 B / C = 3.66

純便益 (B - C) の算定結果

・ **純便益 B - C**

802 (百万円)

平成28年度 日与次川 砂防事業全体計画書策定時に算出

◇2 費用対効果分析

費用便益比(B/C)などの算定

費用便益比 (B / C) の算定結果

・ **総便益 B = 965 (百万円)**

〔 便益 = 947 (百万円)
残存価値 = 18 (百万円) 〕

・ **総費用 C = 290 (百万円)**

〔 建設費 = 287 (百万円)
維持管理費 = 3 (百万円) 〕

費用便益比 B / C = 3.32

純便益 (B - C) の算定結果

・ 純便益 B - C

675 (百万円)

各種資産評価単価等の訂正後に算出

◇3 結論

これまでの経緯のまとめと対応方針（案）

これまでの経緯

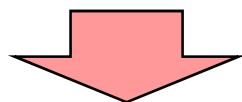
平成28年度 現地踏査や予備設計に着手

平成29年度 （防災・安全社会資本整備交付金）通常砂防事業として採択され、現地測量、地質調査、詳細設計等に着手

令和 2年度 用地買収完了、工事用道路着手

事業の必要性

- ・砂防堰堤の設置は、土砂災害から県民の生命と財産を守るために有効な手段である。
- ・日与次川の保全対象は、**人家15戸、県道大串志度等**があり、土砂災害が発生した場合は**下流域に甚大な被害が発生する恐れがある。**
- ・土砂災害により**県道大串志度線**が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響は大きく、早期に安全性を向上させる必要がある。
- ・令和2年度に用地買収が完了し、工事用道路に着手していることから、令和4年度は**従来の交付金事業から個別補助事業に移行を図ることで、砂防堰堤、溪流保全工を集中的に整備し、災害予防事業を着実に進める。**



対応方針（案）：実施